広報
座光寺
2023
9
No.66

座光寺夏祭り復活

4年ぶりとなる座光寺夏祭りが、座光寺地区夏祭り実行委員会主催により、7月29日(土)に麻績のひろばで開催された。

16時、実行委員長の開催宣言の声と共に、座光寺小学校金管バンドのファンファーレが演奏され盛大にスタート。座光寺保育園の園児によるおどり、座光寺小金管バンドの演奏、高陵中学校合唱クラブ・吹奏楽クラブの演奏が祭りに花を添えた。

18時に、子どもたちが各々の竹宵に点火。竹宵に書かれた願い事に灯りをともした。お楽しみ抽選会は、特賞3万円地域券、他40本。歓声とため息が入り混じっていた。コンサート1人目は、座光寺出身の塩澤有輔さん。東京を拠点に活動するピアノ弾き語りシンガーソングライターで、プロ野球独立リーグ信濃グランセローズの応援楽曲を担当している。2人目は、元消防士で座光寺分署にも勤務していた三ツ沢けんじさん。南信州観光公社の推薦も受けている。

締めくくりには、花火が打ち上げられ、大勢の来場者は久しぶりの夏祭りを楽しんでいるようだった。

4年ぶりの夏祭りを開催

夏祭り実行委員会事務局

夏祭りは、地域住民が心をひとつに地域を活気づけるとともに、参加を通じて郷土愛を育むことを目指して毎年実施してきましたが、令和2年から3年連続で新型コロナウイルス感染拡大のため中止のやむなきに至りました。

感染症対策レベルが5類に引き下げられた今年は7月29日(土)、猛暑の中を約800人(推計値)の地域の皆さんにご参加いただき4年ぶりに開催することができました。

アトラクションでは保育園・小学校・中学校の皆さんに出演いただき、また飲食・縁日の出店や竹宵も復活して大勢の子どもたちの笑顔が会場にあふれました。

さらに地元出身の塩澤有輔さん、座光寺にゆかりのある元消防士の三ツ沢けんじさん、お2人のコンサートで盛り上がり、お楽しみ抽選会ではコロナ禍で停滞してきた地域を活気づけるため「地域券」を当選賞品として、多くの子育て世代の皆さんに喜んでいただくことができました。

今後も、故郷座光寺への思い出づくりとなるとともに、夏の一夜を地域住民が心を一つにして熱くなって楽しむことができるような夏祭りを続けていきたいと思います。

● 人のうごき　世帯数／1,601戸　人口／4,154人　男／2,065人　女／2,089人（令和5年8月末現在）

昨年より悪化したが、きれいな状態
座光寺の河川水質検査実施

■検査結果

採取日：6月14日（水）午前10時～11時　天気：曇り　気温：24～27℃

採取場所	PH	BOD mg/l	SS（浮遊物） mg/l	窒素含有量 mg/l	大腸菌群数 mg/l
①欠野沢川（中水用水路合流地点）	7.3 (7.6)	1.2 (1.5)	11 (7)	3.0 (2.5)	630 (150)
②白山下	7.1 (7.4)	0.9 (0.8)	34 (5)	2.9 (2.2)	160 (48)
③水辺の広場内	7.5 (7.8)	1.0 (1.4)	12 (6)	1.6 (1.4)	410 (120)
④土曽川（宮崎地籍）	7.3 (7.4)	0.6 (0.6)	13 (2)	1.4 (2.6)	110 (61)
⑤南大島川（高岡地籍）	7.3 (7.4)	0.8 (0.8)	4 (1)	1.2 (1.4)	110 (19)

※（　　）の数値は昨年度の結果（R4.6.1 採取）

座光寺地域では、第２次座光寺地域基本構想・基本計画において、地域内の小川を汚さないように努め、清らかな水が流れ、魚の住める水質環境を保つためＢＯＤ２mg/リットル以下を維持することを目標に掲げています。

◆結果について（環境アドバイザー浅野先生によると）

ＳＳなどの項目で数値が昨年より大きくなっていますが、これは調査の直前まで雨が降っていた影響です。ＰＨの数値がやや低くなっているのも、曇り空で日照が少なかったためで、よくある現象です。ＢＯＤの数値が低いので、川はきれいな水質が保たれています。

地域の方々が環境に関心を持っていてくだされば、良い環境が維持されていくと思います。

環境衛生委員会では、これからも地域内の水質環境が保たれるよう、水質検査を継続していきます。

座光寺地域自治会 環境衛生委員会／共催：座光寺下段整備地区用排水路管理組合

環境衛生委員会と座光寺下段整備地区用排水路管理組合は、飯田市環境アドバイザーの浅野清志先生に指導いただき、地区内５カ所の河川等において水質検査を実施しました。検査結果は、昨年と比較すると悪化した項目もありますが、天候等に影響されたと考えられ、座光寺の河川は綺麗な状態にあると考えられます。

【検査項目について】

ＰＨ（水素イオン濃度）

酸性・中性・アルカリ性を示す指標。河川の環境基準は６・５以上～８・５以下。

ＢＯＤ（生物学的酵素要求量）

ＢＯＤが高いということは溶存酸素が欠乏しやすいことを意味し、10mg/リットル以上では悪臭の発生の障害が現れ始める。

ＳＳ（浮遊物質）

水中に懸濁している不溶解性の粒子状物質のことで、粘土鉱物に由来する微粒子や、動物性プランクトン及びその死骸、下水・工場排水などに由来する有機物や金属の沈殿などが含まれる。

窒素含有量

窒素は空気や土などに含まれており、雨や地下水や川の水に溶け込んで流れていく。町の中を流れている川には家庭や工場からの排水が、田んぼや畑の近くを流れてきた川にはたくさんの肥料が流れ込んでくる。

大腸菌群数

大腸菌群は一般に人畜の腸管内に存在するもので、これが水中に存在することはその川が人畜のし尿の汚染を受けた可能性があることを意味する。

住民の声を活かす自治会へ
おみの目安箱 9月15日から運用スタート

座光寺地域自治会は、「自ら考え自ら行動するまちづくり」をスローガンに自治会運営に取り組んでいる。6月の自治委員会定例会において、「住民の意見が言える意見箱のようなものは座光寺地域にあるか」との発言があった。これを受けて自治会として「おみの目安箱」を公民館に設置しようとの動きとなり、意見用紙・箱を作って設置することとなった。設置は9月15日（金）から。箱の内容は適宜自治会で確認する。回答が必要な場合、後日自治会長から提言者に回答する方式。自治会は、今回の目安箱設置によって、地域の住民が自分の意見を言えるようにしたいとの思いである。

自治会からのメッセージ

今後の自治会運営へ活かすため、住民の皆さんから自治会活動・自治会運営に関するご意見・ご提言を募集します。ぜひ皆さんからの建設的な声をお聞かせください。なお、提出にあたり、必ず氏名・住所を記入し、投稿ください。

座光寺消防団

25年ぶりにポンプ車操法の部で優勝

このたび、令和5年度の飯田市消防団大会において、座光寺消防団は25年ぶりに「ポンプ車操法の部」で優勝を果たしました。この結果は地域の皆様のご支援とご協力の賜物であります。心より感謝申し上げます。第12次消防力整備計画において座光寺消防団のポンプ車の廃止が決定しました。今年度でポンプ車は廃止となりますが、私たちは地域の安全と皆様の命を守るため、引き続き全力を尽くしてまいります。最後に、改めてこの優勝の喜びと感謝の気持ちを込めて、座光寺地域の皆様に心からのお礼を申し上げます。

やまびこ運動 人波作戦・防犯パトロール

生活安全委員会

夏の交通安全やまびこ運動（7月22日～31日）に合わせて、24日（月）に朝6時45分から平安堂前で「人波作戦」を50分間程実施しました。黄色の帽子とベストを着用し、のぼり旗を手に、生活安全委員、上郷飯沼交番の駐在、他関係者と歩道に立ち交通安全を呼びかけました。通勤のドライバーの方に、子どもたちや高齢者を交通事故から守り悲惨な事故を起こさないよう、安全運転へのアピールができたと思います。

防犯パトロールは、子どもたちが夏休みに入った7月26日(水)夜19時より、生活安全委員7名と上郷飯沼交番駐在、自治振興センター職員と二手に分かれて、平安堂・ゲオ、セブンイレブン、ローソン、アピナの4店舗へ防犯の声がけとパトロールを行いました。子どもたちの姿は少なく、特に懸念することはありませんでした。子どもたちが、犯罪を起こさず巻き込まれず、健全な生活が送れるよう、地域全体で大人の眼を光らせ見守っていかなければとの思いから、防犯の啓発を維持し、抑止になればと思います。

平安堂前にて交通安全を呼びかけ（人波作戦）

空飛ぶ乗り物に興味津々

飛行機と空飛ぶ車の謎 inエス・バード

空を飛んでいく乗り物の不思議を聞きながら模型飛行機を作ってみんなで飛ばそうという行事が6月24日（土）に、エス・バードで開催されました。公民館健全育成部の主催で、信州大学の柳原先生を迎え、14名の子どもたちと、その保護者が参加。飛行機が飛ぶ原理は難しい内容でしたが、動画や絵を使用してわかりやすく説明してくれました。模型飛行機は全長410㎜、幅500㎜ゴム動力のグライダー型。保護者や公民館員の助けにより全員無事に完成することができました。プロペラを100回ほど回転させてテイクオフ。子どもたちは歓声を上げ、模型飛行機とともにホールを飛び回っていました。健全育成部の勝野さんと三村さんは「親子で協力しながら模型飛行機を作り、まっすぐ飛ばすための調整を経験することで深く学習ができたと思います」「終了後も飛ばすことをなかなかやめずに熱心な探究心が見えました」と語ってくれました。

天竜川本流の接近により水生生物観察会中止

6月の大雨により天竜川の本流が水辺の広場のすぐそこまで近接した。これにより安全確保が難しいと判断し、7月16日(日)に開催予定であった水生生物観察会は中止となった。人気の事業であるため中止は残念である。次回以降は本流の様子を見ながら検討するとのこと。また、隣接するマレットゴルフ場は倒木のため年度内使用禁止となっている。

地球外生命体はあるのか？

星空観察会

8月26日（土）、公民館健全育成部主催で星空観察会が開催されました。星空観察会は、日中のプラネタリウム鑑賞と、夜間の星空観察の2部構成ですが、夜間の星空観察会は悪天候のため中止となってしまいました。

前半のプラネタリウムでは、「宇宙のオアシスを探して」というタイトルで、地球以外に液体の水の存在する星を探す番組をみんなで鑑賞しました。

参加した久保田拓実くん（5年生）は、「宇宙の事がよく知れて良かった。地球以外に生命体があっても不思議じゃないし、植物もあるはずだ。」と感想を聞かせてくれました。

プラネタリウムを鑑賞

第11回 座光寺夏祭り

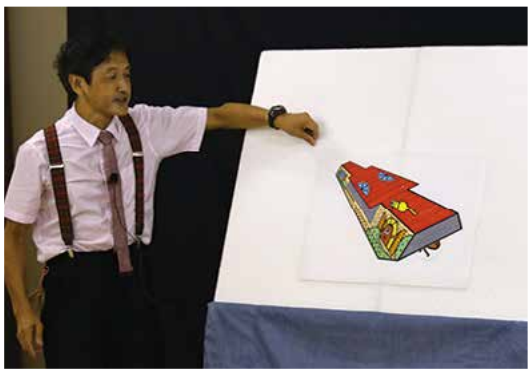
令和5年
7月29日(土)

三ツ沢けんじさん

塩澤有輔さん

座光寺人形劇まつり

令和5年
8月5日(土)



劇団 手風琴

大道芸人 オマールえび

座光寺のりんごが渋谷と奈良を結ぶ

東京・奈良の子ども座光寺へ

「奈良地域の学び推進機構」と「放課後まほらbo」の企画による「りんごの旅」が初開催され、東京・奈良の小学生5名と引率者を座光寺自治会が受け入れた。8月16日(水)から19日(土)まで公民館に宿泊・滞在し、自治会による歓迎会、元善光寺参拝、焼き肉交流会、くしはら動物園でヤギとの戯れ、子ども桜ガイドとの交流、竹田人形館見学などを体験した。メインであるパノラマファーム大門でのりんご狩りは、猛烈な通り雨となったが、合間におとずれた晴天で、真っ赤に色づいたりんごを収穫することができた。

この旅のきっかけは、10年ほど前に「放課後まほらbo」代表の三宅基之さんが、座光寺と渋谷区の交流で、表参道に植えられたりんごの木に興味を持ったことから始まった。パノラマファーム大門の代田勝場長（当時）と交流を重ね、りんごの苗木200本ほどを奈良に植える活動を行っている。今回は、なぜ渋谷・奈良にリンゴが植えられているかという謎を、子どもたちが探る旅であるため「りんごの旅」と名付けられた。三宅さんは、「今までは、りんごを育てる取り組みであったが、今後は、りんごをきっかけに子どもたちを育てる交流に繋げたい」と語った。

焼き肉交流会で、カンパーイ。

参加した子どもたちの声

尾藤南美さん(小3)「座光寺の子どもたちと鬼ごっこをしたのが楽しかった」

土屋亜子さん(小4)「不安もあったけど子ども桜ガイドのみんなと遊んで楽しかった。住所交換をしたのでお手紙を書きたい」

八尾竜成くん(小4)「りんご狩り、焼き肉など貴重な体験や、いろんなことにチャレンジできた」

坂内理巧くん(小4)「山に囲まれ、自然がいっぱいだった。ハンミョウに出会えて感動した」

成田ゆきまさくん(小5)「座光寺には寺や桜などいろいろある。桜が咲いている春にまた来たいと思った」

市場通り地区

今村夏海さんダンスで世界一に！

7月14日に、アメリカ、カリフォルニア州アナハイムで開かれたダンスの世界大会「ショーストッパー・ファイナル（Showstopper Final）」の、少人数グループ・シニア部門に、市場通り地区の今村夏海さんが所属するダンスチーム「レリアン」が出場し、優勝しました。

今村さんは現在飯田高校の2年生、飯伊地区を拠点とするLOPダンスカンパニーに所属しています。

今村さんがダンスをはじめたのは4歳の頃。今村さんのお姉さんがとても楽しそうにダンスに通っていて、私もやってみたいと思った事がきっかけでした。

スーパーキッズダンスコンテスト入賞（中学生時）

小中学校でもダンスを続けて、子どもたちのダンス大会では日本最大のスーパーキッズダンスコンテストに何度も出場したほか、座光寺の夏祭りでもダンスを披露した事もありました。

昨年春、同じメンバーで挑んだ別の大会で優勝したことが自信となり、この大会への参加を決意。

本年3月に東京で開催された予選で準優勝し、アメリカでの決勝（ファイナル）で見事優勝を果たしました。

大会当日は、世界中から予選を勝ち抜いた多くのチームが集まりました。今村さんは、「予選の後、練習を重ねてきたダンスの基礎や、表現については負けていないと思ったし、演技が終わった後の充実感や楽しさも最高でした。でもまさか優勝できるとは思わなかった。」と大会の様子を語ってくれました。

また、アメリカへの旅行は、今村さんにとって生まれて初めての海外旅行。「いっしょにダンスに取り組んできた仲間4人で、いっしょに食べたアメリカのハンバーガーはとてもとても美味しかった。」と、楽しかったアメリカへの旅の思い出も語ってくれました。

大会会場のディズニーホテルにて

今回優勝したダンスチーム「レリアン」の活動は9月10日(日)に飯田文化会館で開催される「かがやきフェスティバル」をもって一旦休止するとのこと。

今村さんは、これからもダンスに取り組む一方、「ダンスを通じて学んだ努力する事や感謝する心を大切に学業にも力を入れたい。」と、今後の抱負を語ってくれました。

3年ぶりの 春季スポーツ大会

体育部長　篠田　毅

新型コロナの行動制限が緩和され間もない6月初頭、各地区の体育係さんが奮闘して参加者を集めていただいた結果、3年ぶりの春季スポーツ大会は、全地区が参加して開催することができました。

従来通りの3種目が行われましたが、どの種目でも今までの大会とは違って和気あいあいとした雰囲気でした。勝ち負けのこだわりよりも、団体スポーツをする喜び、地区の方たちとの交流を楽しむ姿を目にすることができました。

まだまだ新型コロナへの不安があるかと思いますが、今後に行われる運動会などのスポーツイベントにも、多くの方が積極的に参加していただけることを期待しております。

ペタンク競技の様子

運動会のお知らせ

体育部長　篠田　毅

10月8日(日)に、「座光寺地域市民運動会」を開催します。台風や新型コロナなどにより、4年間中止が続いていましたが、今年は晴れて開催となります。

今回は、体育部で内容を検討し、午前中のみの半日開催となります。今までの種目に加えて新しい競技もありますので、ぜひ地区に協力していただき、皆で運動会を盛り上げていきましょう。

絵巻に思いを馳せる

善光寺如来絵解き

「元善光寺の善光寺如来絵解き」が歴史に学び地域を訪ねる会の主催で、7月16日(日)に開催された。午前は麻績の舞台校舎、午後は元善光寺本堂にて2回開催され、元善光寺の絵解きでは、本多住職も参加し「私の知る限りでは元善光寺での絵解きは初めて。貴重な機会なので私も楽しみたいと思います」と語った。講師は長野市からお招きした長野県郷土史研究会会長の小林一郎さんと、副会長の小林玲子さん。会長の小林一郎さんによると「絵解き文化は、インドから仏教と共に日本に伝わり、日本に大きな影響を与えた。絵と文章で成り立っており絵を見ながら人が説明するものである。善光寺信仰を広めるためこの掛け軸を全国へ持って行き、各地で絵解きを開催したとのこと」副会長の小林玲子さんが絵解きの実演を行い、3幅の掛け軸の絵を指しながら軽快に物語を語った。副会長の小林玲子さんは、30年前から絵解きを始め、長野の寺に伝わる掛け軸や紙芝居を使用して絵解きを広める活動を行っており、「長野の絵解きを広める会」を設立している。

小林玲子さんによる絵解きの実演

地域探訪 御岳山と木曽の歴史を訪ねる

歴史に学び地域をたずねる会　会長　田口　博人

飯田市、下伊那郡以外の地域探訪はコロナ感染症が始まって以来4年ぶりのことで18名の参加者で行うことができました。見学した場所は三岳「さとテラス三岳」～開田高原「木曽駒牧場」～木曽おもちゃの美術館～山村代官屋敷～宮ノ越義仲館・徳音寺～奈良井宿の街並みを歩き、6か所を観たり体験することができた。さとテラス三岳では御岳山の火山の水蒸気爆発の凄さを映像で見ることができました。恒川史跡公園に出来るガイダンスにも映像施設は是非必要だと思って観て来ました。今後行う地域探訪に大勢の方に参加していただき地域を知っていただきたいのでよろしくお願いします。

義仲館にて記念撮影

図書館お楽しみ会

分館長　橋爪　俊枝

7月8日（土）座光寺図書館の夏のお楽しみ会が行われました。

始めに紙芝居を2作、続いてラミネーターを使ったしおり作りと、お菓子のプレゼントなどがありました。

カラフルな紙やペン、恐竜や昆虫、かわいいシールを使い参加してくれたみなさん、とても素敵なしおりを作ってくれました。完成したオリジナルのしおりを見せてくれた笑顔がとても印象的でした。ぜひ読書の時に使っていただきたいです。

図書館では年2回、夏と冬にお楽しみ会を行っています。みなさん楽しみにしていてくださいね。

オリジナルしおりの完成

座光寺の自然 33 オオバコ

身近にある雑草で、知っている人と知らない人の割合が世代によって異なる種類がいくつかある。その一つが〝オオバコ〟。年配の人はほとんど知っているのに、若い人はあまり知らない。その一番大きな理由は昔は「身近にたくさんあった」のに今は「無い」から。

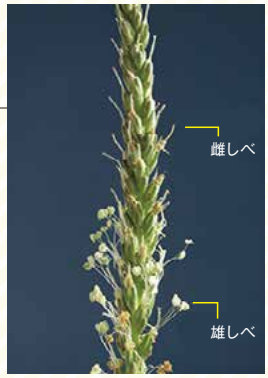
葉を四方に広げ、花茎を立てる。踏まれても葉の被害は少ない。踏圧に強い。

なぜ無くなった？

オオバコの生育場所は空き地や農道。葉っぱを四方に広げて、茎を立てるのは花茎だけ。葉を広げているだけの形は踏圧に強い。

多くの植物は光獲得競争で高くなろうと茎を伸ばす。この形は踏まれると折れる。オオバコはそんな光獲得競争には参加しない。その代わり、人や車にひかれる農道を選んだ。

ところがこの農道、30～40年前頃から舗装された。さすがに舗装道路には生えることができない。このことが世代による違いを生み出した。

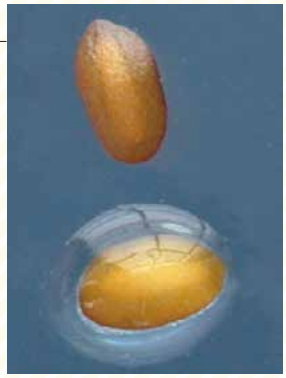


花は地味で目立たない

別にも理由が

オオバコの花茎は雌しべ先熟。花は下から咲いて、だんだん上に登っていく。この花は地味で多くの人は気づかない。

楕円形の果実は上半分が〝蓋〟になっていて、中に楕円形の種子が入っている。この種子、巧妙にできていて、湿ると周りに粘液をだしてものに〝ひっつく〟。通りかかった動物や人の靴にひっついて運ばれる。やがて乾くと脱落する。ところが今は歩かない。



種子は濡れると粘液をだす。上は乾いた状態。下は粘液をだしている。

もう一つの理由

昔は花茎が遊び道具だった。花茎は道にいっぱいあって踏まれているから繊維が強い。子どもたちはこの花茎を〝U〟字型に曲げて、互いに絡ませて擦り、ゆする。どっちが切れるか競うのだ。

TVアニメからゲームの時代。草花遊びをする子どもはいなくなった。知らないわけだ。

里地植物

太古、このあたりを森が繁っていた時、オオバコの生育地は河原や崩落地など、攪乱がしばしば起こる場所だったに違いない。自然の中で細々と生きていた。やがて人が定住して道路や空地ができた。オオバコにとっては格好の適地で大繁殖。このような動植物はたくさんいるし、ある。

今、座光寺のオオバコは学校のグランドの隅。農道の舗装脇にもあるが、除草剤には敵わない。駒ヶ岳の登山道にもオオバコはある。人の〝靴〟が運んだのだ。

（伊那谷自然友の会　小林正明）

土曽川大橋下の農道。2年前の状態。今は座光寺・上郷道路で無くなった。轍（わだち）の間にはオオバコがあった。

編集後記

米、ハーバード大学での「積極的差別是正措置」の妥当性が、連邦最高裁で争われました。

これは、大学の入学に黒人を優遇する枠があり、これによりアジア系の人の入学機会が失われている。これは法の下の平等に反するという訴えによるものです。

アメリカでは、人種差別問題解消のために、積極的差別是正措置として、進学や就職に特別な人種枠を設定してきました。

しかし、今回の裁判では、この措置がかえって逆差別になってしまっているとの判断となったのです。

座光寺の自治会や公民館にも女性の枠がありますが、この枠組みも、同様の考えによるものなのでしょう。

この制度が今の時代に合っているのか、女性枠の委員の活動内容は男性と平等なものとなっているのか、そもそも女性枠の存在が女性の負担になってしまっていないのかを再点検する必要があるのではないでしょうか？

（広報　篠田）

●広報座光寺のバックナンバーを座光寺のホームページからご覧になれます。

広報 座光寺　発行／座光寺地域自治会　編集／公民館委員会広報部　印刷／龍共印刷株式会社

この広報誌は、再生紙を使用しています。
VEGETABLE OIL INK